

① 遠用 (DISTANCE)

	② PD (瞳孔間距離)	③ SPH (球面度数)	④ CYL (乱視度数)	⑤ AXIS (乱視軸)	⑥ ADD (加入度数)	⑦ PRISM (プリズム)	⑧ BASE (基底)
右 (R)	33.0mm	-1.00	-1.00	180	1.25	-	-
左 (L)	32.0mm	-1.25	-	-	1.25	-	-

① 近用 (READING)

	PD (瞳孔間距離)	SPH (球面度数)	CYL (乱視度数)	AXIS (乱視軸)	ADD (加入度数)	PRISM (プリズム)	BASE (基底)
右 (R)	32.0mm	+0.25	-1.00	180	-	-	-
左 (L)	31.0mm	0	-	-	-	-	-

プリズムと基底が
入力されている場合、
オンラインショップでは
作製できません。

処方箋の見方

①用途:遠くを見る用と、近くを見る用でわかれています。
遠近・中近両用は遠用度数を入力します。

②PD (瞳孔間距離) : 左右の瞳の中心間の距離をミリ単位で示します。
左右別に記載されている場合は、顔の中心から各瞳までの距離です。

③SPH (球面度数) : 近視・遠視の度数です。「S」と記載されることがあります。符号は「+ (凸)」または「- (凹)」で表示されます。記載がない場合は「0.00」を選択してください。

④CYL (乱視度数) : 乱視を補正するための度数です。「円柱」や「C」と記載されることがあります。符号は「+ (凸)」または「- (凹)」で表示されます。記載がない場合は「0.00 (乱視なし)」を選択してください。

⑤AXIS (乱視軸度) : 乱視の角度を表すもので、1~180の数値で指定されます。
CYLがある場合は、必ず入力してください。記載がなければ「なし」を選択してください。

⑥ADD (加入度数) : 遠用のSPHに加算される値で、遠近両用・中近両用に必須の度数です。
遠用と近用のSPH度数差です。
例: 遠用SPHが-2.00、近用SPHが-1.00の場合、ADDは1.00

⑦プリズム: 「斜視」「斜位」の場合に、必要があれば記載されます。オンラインショップでは作製できません。

⑧基底: プリズムがある場合、基底 (BASE) の方向をどこに向けるか記載されています。